

区 分	標準的な解答例又は出題意図
小論文(1)【英語】	<p>問1</p> <p><u>出題意図</u> 筆者は、Maya Angelou の詩を引用してマイクロアグレッションを説明しようとしているが、その意図と内容を本文から読み取り、日本語で簡潔に表現する能力を問う。</p> <p><u>解答例</u> マヤ・アンジェロウの「それでも私は立ち上がる」という詩が問題にしているのは、偏屈者や白人至上主義者による、あからさまで意識的な人種差別やヘイトクライムだけではない。この詩が言及するのは、筆者がマイクロアグレッションと呼ぶ、自分自身を善良で道徳的な人間であり、有色人種を意識的に差別することなどないと思っている、善意の支配的グループのメンバーによる日常的な人種差別についてでもあり、詩の引用からは、マイクロアグレッションが、学校の教育カリキュラムや言語、または非言語で、どのように現れるのかがわかる。 (249 字)</p> <p>問2</p> <p><u>出題意図</u> microaggressions に関する筆者の見解を読み取り、日本語で簡潔に表現する能力を問う。</p> <p><u>解答例</u> マイクロアグレッションとは、微妙で、見事で、しばしば自動的に、非言語的に交わされる 貶めと定義されてきた。もともとは人種問題について使われる言葉であったが、社会の周縁に位置する人々を対象にするため、人種差別、性差別、ジェンダー差別、異性愛主義、階級差別、障害者差別などの抑圧とも関連するものである。 (148 字)</p> <p>問3</p> <p><u>出題意図</u> マイクロアグレッションが何気ない小さな差別・暴力である、という筆者の主張を理解し、それを自分なりに捉え直し、議論を組み立てる応用力を問う。筆者の見解への賛否は評価対象とせず、適切な表現を用いて説得力のある議論を展開できているか否かを評価する。</p> <p><u>解答のめやす</u> 必ずしも筆者の意見に同意する必要はない。マイクロアグレッションという問題について、論理的な文章によって独自の議論を展開することが求められる。</p>

令和4年度
推薦入試

【 人文・文化 学 群 比較文化 学 類 】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
小論文(2)【日本語】	<p>問1</p> <p><u>出題意図</u></p> <p>本文を的確に読み取り、設問に即して規定字数以内でまとめる能力が求められる。</p> <p><u>解答例</u></p> <p>テレビ番組「トリビアの泉」に登場する「ガゼビアの沼」のシーンは、世の中の事象が真実と虚偽に見事に二分されるという印象を視聴者に与えることで、科学に対する誤った認識へと導く危険をもつ。一方で、科学的知見が常に更新されうるという事実は科学史からも明らかなのに、社会の中で科学が取り上げられるときに、科学は正しいと誤認する傾向がわれわれにはあり、「ガゼビアの沼」の場面はそうした傾向を助長し強化する。(197字)</p> <p>問2</p> <p><u>出題意図</u></p> <p>論文の大意を問う問1を受け、人類学者ラトゥールが「作動中の科学」と呼ぶものを正しく理解し、説明することが求められる。「作動中の科学」の身近な実例と、それが社会の中でどのような現象として現れ、どのような結果を生み出すのかについての知識と分析力が求められる。</p> <p><u>解答のめやす</u></p> <p>気候変動が世界規模の問題として大きく取り上げられ、誰もがその危機感を共有しているものの、実際の対策として二酸化炭素排出量をいくら減らせばよいかについての科学的知見はいまだ暫定的でしかない。国内に目を転じると、福島原発事故をめぐる放射能汚染についても、科学的知見は揺らいだままだ。ここには「作動中の科学」という事実の一方で、科学の「知見」、すなわち真偽の判断を求める社会や人々の要望も根強い。たとえば、事故後に起こった風評被害という現象について見ると、科学者の知見が徐々に変化したというよりも、むしろ社会の利害や</p>

人々の欲求から任意の知見が選別され、結果として相矛盾する複数の知見が対立する結果となった。

問3

出題意図

学問としての科学が持つ方法論と、それとはかけ離れた社会での前提（ア・プリオリ）がもたらす摩擦や齟齬にどのように折り合いをつけたらよいか、また、科学と科学がもたらす知見を人や社会が正しく理解し、利用するためにはどうすればよいかについて、具体的な事例を挙げながら論理的に表現することが求められる。また、そうした問題解決にあたって人文学に何ができるのか、どのような点で人文学の存在や介入が有益なのかについて、論理的に説明する能力が求められる。

解答のめやす

科学的な問題と人文学的知見をどう結び付けることができるかという問いを立て、それに対して具体的に答えられるかどうかをみる。また、人文学の中でも、どういった学問分野や学問領域がとくに任意の問題解決に優れているのかなど、過去や現在の事例を分析し、自分の意見を論証する能力が求められる。